

長文読解問題集

も

く

じ

第1回 物語文(1) 家族	4
第2回 物語文(2) 成長	16
第3回 物語文(3) 友情	28
第4回 物語文(4) 近代の童話	40
第5回 説明文・論説文(1) 言葉と文化	52
第6回 説明文・論説文(2) 自然と人間	64
第7回 説明文・論説文(3) 社会	76
第8回 説明文・論説文(4) 思想・哲学	88
第9回 隨筆文(1) 隨想的文章	100
第10回 隨筆文(2) 紀行文	112
第11回 隨筆文(3) 文学的隨筆	124
第12回 隨筆文(4) 論説的隨筆	136

第1回 物語文(1) 家族

基 本 問 題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45 40 35 30 25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりりますのでご安心ください。

70 65 60 55 50

(注) 秋田で：病気になつたおじいちゃんの世話でお母さんのが福岡に行き、五年

(三輪 裕子 「鳥海山の空の上から」 より)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

100 95 90 85 80 75

生の翔太は、秋田のおばさんの家で世話をすることになった。

ムーミン…フィンランドの作家トーベ・ヤンソンの小説に登場するキャラ

ラクター。日本でアニメ化された。

切迫流産…妊娠中で流産しかけている状態のこと。

アイポッド…デジタルオーディオプレイヤーの一つ。

嵐…男性アイドルグループ。

ジブリ…アニメ制作会社。

□問一

——線①「母さんから先手を打たれて」とありますが、「先手」とはどのようなことが考えられますか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ゲームばかりしないようにという電話があつたこと。

イ 宿題を終わらせておくように言われたこと。

ウ きちんとお昼ご飯を食べるよういうメモがあつたこと。

エ 秋田に持っていく本を選んでおけと言われたこと。

□問二

——線②「思いがけない」とありますが、秋田に行くつもりでいる翔太にとって何が思いがけないことだったのですか。「提案」という言葉を使って二十五字以内で答えなさい。

□問三

——線③「秋田でいやなことがあつたら、すぐにわたしに電話しなさい」とあります。このときの一枝姉さんの気持ちを「記憶」という言葉を使って五十字以内で答えなさい。

□問四

——線④「一枝姉さん、そんなこと何もいってなかつたよ」とあります。一枝姉さんが言わなかつたのはなぜだと考えられますか。「先入観」という言葉を使って四十字以内で答えなさい。

□問五

——線⑤「なんだか静かすぎて、さみしいような気がした」とあります。翔太がそう感じた理由を「つながり」という言葉を使って四十字以内で答えなさい。

練習問題題

●次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ハルは、小学五年生。夏休みの初日に、一人で買い物に出かけたとき、離れて暮らしていた父に突然呼び止められ、そのまま二人で旅に出てしまう。父とハルは、さまざまな出会いと経験をしながら旅を続けるが、八月のある日、ハルはまた突然、母の元に戻ることになった。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

70

65

60

55

50

100

95

90

85

80

75

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(角田光代「キッズナップ・ツアーより)

□問一

——線①「おとうさんと巨があう」とあります。このときのハルは、どのように思っていたのですか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 私の貯金を使つていいとなれば、おとうさんは一人でも旅を続けられるかもしれない。

イ 私がどれだけおとうさんといっしょにいたいか、今伝えないと家に帰されてしまう。

ウ 貯金のことを知れば、おとうさんは私のことをしつかりした娘だと見直してくれるだろう。

エ おとうさんが私といっしょに旅をして本当に楽しかったのかどうか、どうしても確かめたい。



□問二

——線②「私きっとろくでもない大人になる」とありますが、こう言ったときのハルの気持ちとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 親が自分に対して愛情を持つていないこと気にづき、すっかり落ちこんでいる。

イ 自分の面倒を全く見てくれず、遊んでばかりいる親に嫌気がさしている。

ウ 親が自分の気持ちを受け止めてくれないことに、今までにない怒りを感じている。

工　親の身勝手に振りまわされ、言いなりになつてゐる自分を情けなく思つてゐる。

工 旅自体は楽しかったけれど、おとうさんはやつぱり私に
とつて遠い人だ。

□問三　――線③「きらいだし、かつこ悪い」について、次の問いに

答えなさい。

(1) この話をしているときの父親の態度を示す言葉で、自分の考えはどうしてもゆずれないという強い思いがうかがえるもの的文章中からさがし、四字で書きぬいて答えなさい。

(2) 父親はハルにどのような生き方をしてほしいと思つていま
すか。三十五字以内で答えなさい。

問六

この文章の特徴として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 物語が会話を中心に展開されていて、発言から人物像や心

情を読み取ることができる。

イ 登場人物同士の激しいやりとりから、物語の山場らしい緊張感が伝わってくる。

ウ その時々の情景や登場人物の行動が簡潔に表現され、
ハナ獨子^{かる}文草^が進行^{して}いる。

巧みな比喩によって、主人公の心情の変化や思いの強さが表されている。

ウ もう少し長く旅を続けられたら、もつとしつかりおとうや
んと話ができるよかつたのに。

□問五 旅を終えたハルは、父親のことをどのような人間と思うようになりましたか。「見た目はうが、自分にとつてはう。」という形で五十字以内で答えなさい。

1

● 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

発展問題題

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

75

70

65

60

55

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

105

100

95

90

85

80

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

130 125 120 115 110

(注) 国民服：国民が常用すべきものとして、第二次世界大戦中に広く男子に用いられた服装。型は軍服に似ている。

モンペ：袴の形をして足首の部分のくびれた衣服。第二次世界大戦中は婦人の普段着として用いられた。

腰板：ここでは、列車の窓枠の下の部分に張った板。

鎧戸：細長い板を斜めにして、間をあけて横に並べてつないだ戸。窓の外側につけて、日光の直射を防ぎ、風通しをよくする。

軍需工場：戦争に必要な武器・弾薬・航空機・車両などを製造する工場。

これらの工場は秘密保持のために写真を撮ることなどが禁じられた。

当局：ここでは、政府または軍部などの機関。

カーキ色：黄色に薄い茶色の混じった色。旧陸軍の軍服に用いられたた
め、国防色とも言われた。

嵩じる：高じる。ひどくなる。懇意：親しくつき合っている様子。

仕舞屋：商店街の中で、商売をしていない家。もとは、商売をやめた家
の意味。

女将：料理屋・宿屋などの女主人。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(竹西寛子「蘭」より)

掘割：地面を掘り開いて造った水路。^(ほ)

問

——線①「父親は、ひさしを伴うのに、葬儀という名目があるしよかつたと思った」とあります。どうしてそう思つたのですか。「息子」「旅」という言葉を使って六十字以内で答えなさい。

問二

工 店に来て初めて女将の人生について真剣に考えることがで
きた。この人には今はげましがいちばん必要なことがわかつ
たが、子供の自分がそれを言うと生意気に聞こえるかもしれ
ないと思つたから。

店に来て初めて女将の人生について真剣に考えることがで
きた。この人には今はげましがいちばん必要なことがわかつ
たが、子供の自分がそれを言うと生意気に聞こえるかもしれ
ないと思つたから。

文章中の「」の場面では、「ひさし」の心情はどのよう
に変化して いますか。次のそれぞれの部分に描かれて いる気持
ちを、①・②は三十字以内、③は四十字以内で 答えなさい。

——線②「ひさしは、今自分がこの女のひとのために出来るのは、心からお礼を言うことだけだと思った」とあります。どのような理由でそう思ったのですか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

父といつしょに食事をしながら女将の様子をじっくりと見ていた。この人について知らないことは多いが、女将をはげます父のあいさつを聞いているうちに子供でもお礼は言えると判断できたから。

イ　自分たちをもてなすために女将が一生懸命準備をしてくれたのを知った。悲しみの中でも他人のためにつくしてくれるこの人に対する子供でも精いっぱいのあいさつをすべきだと考えたから。

ウ
店で食事をとつて、いるうちに女将の悲しみを何となく知る
ようになつた。この人のために自分も何かしてあげたいとは
思いはしたが、子供の自分にできることは他に何もないこと

問五

(1) 父親は、現在どのよ^うな状況^{じきょう}を生きていますか。父親の置
かれて^{いる}状況を「工場」「同業の友人」という言葉を使つて、
九十字以内でまとめなさい。

――線(4)「ぎごちない足どりで駄に向かっていた父親の背が、
対いの席で目を閉じている父親に重なった」について、次の問
いに答えなさい。

問几

——線③「ひさしは、自分の意気地なさを後悔した」とあります。それはどういうことですか。「歯の痛み」「扇子」という言葉を使って七十字以内で具体的に説明しなさい。

③ 「ひさしは、頭から冷水を浴びせられたようだつた」

(2) (1)で答えたような父親の姿や、「女のひと」を見て、「ひさし」は人生に対するどのようなことを感じていると考えられますか。「大切なものの」という言葉を使って五十字以内で答えなさい。